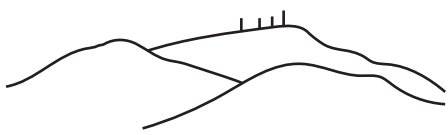


Youth Manna

2022/4/4 - /4/10



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2022/4/4(月)

詩篇 119:57-80

◎まず、聖書を開く前に、神様に「あなたの仰せを学ぶようにしてください(73)。あなたの恵みが私の慰めとなりますように(76)。今、私があるあなたの戒めに思いを潜めることができますように(78)」と祈ろう！

ところで、みんなにとってみことばはどんなもの？私は、友達や家族に「こうしなさい」と言われてもマイチ自信を持って従えない自分があるけど、みことばによって神様が「こうしなさい」と言う時、それは必ず良い道だと、なぜかそう確信を持てるんだ。また、私は本を1冊読んだら「もういいや。2回は読まない」ってなっちゃうけど、私の人生の中で聖書だけが唯一こんなに長期間読み続けることができている不思議な書物です。

聖書を開く時、神様が語ってくださるよう祈ろう！そして、みことばが自分にとってどんな存在なのか、考えてノートにまとめてみたり、友達に話してみよう！

2022/4/5(火)

詩篇 119:81-104

クリスチャンになっても、変わらず苦しみや困難はあるものだよね。みんなは今どんなことが問題に感じているだろうか。この著者も様々な苦しみを味わいつつ、それでも自分にとってみことばが喜びであり、神様のことばによって生かされていることを告白しているよ(92,93)。

人のことば、メディアから流れてくるもの、この世の価値観や教えなど、様々な偽りが私たちの目を曇らせ、滅ぼそうとしてくるけれど、みことばが私たちの心を光で照らし、いのちの道を見極めさせてくれると歌われているね(104)。

今日一日、自分の心が、神様のことで満たされるように求めて祈ろう！

2022/4/6(水)

詩篇 119:105-128

真っ暗な夜道を想像してみよう。電灯や月明かりがあれば、自分がどこを歩いていて、どこに向かっているか分かるけど、明かりが一切無い状況だとどうだろうか？

詩人は105節で「あなたみことばは私の足のともしび 私の道の光です」と告白しているね。私たちは、自分の進んでいる道が正しいかどうか、どうやって知ることができるのだろうか？自分が何者であって、どこに向かって歩めば良いのか、それはみことばによって分かるものなんだね。

みことばが日々の歩みを照らすように、聖書に親しもう！日々のデボーション以外でも、聖書に触れる機会を積極的に持っていこう！

2022/4/7(木)

詩篇 119:129-152

130v 「みことばの戸が開くと光が差し浅はかな者に悟りを与えます。」

私たちは聖書を読むことによって神様を知ることができる。逆に開かなければ知ることができない。だから神様を知るためにも聖書を日々読む必要がある。

神様は「永遠の義」なるかたである(義とは正しい道)。間違いない正しさが私たちには示されている。ただ、分かっているでもそれを選び続ける難しさはないだろうか？
祈ろう！神様とともに歩むことのできる喜びを受け取ろう！！

出発の日

2022/4/8(金)

詩篇 119:153-176

119篇では「みおしえ さとし 戒め おきて 仰せ みことば」が計153回出てくる。今日は特に162節から「みことば」に思いを向けてみよう。

私は大きな獲物を見つけた者のようにあなたのみことばを喜びます。

四葉のクローバーを見つけた。売り切れていた推しのグッズを見つけた。色違いのポケモンを見つけた。偶然街中で好きな人を見つけた。そんな経験はないだろうか？見つける喜びの大きさを思い出してほしい。そのくらい神様のみことばは詩人の喜びだったんだ。

しかし、獲物は見つけて終わりではない。捕まえてこそ喜びは大きくなる。同じように御言葉は従ってこそ本当の喜びを得ることができる。あなたの足もとを照らす御言葉に従って歩もう。

2021/4/9(土)

ダニエル 1章

バビロンからの初めてのエルサレム攻撃で、この時にユダの住民も捕囚となった。その中の1人がダニエルだ。彼もエジプトの文化に倣うことを強いられた。王宮で仕えたりしていた。だけどダニエルは信仰を貫こうとしたね。神様の律法に従って生きることを願い、自分の身を汚さないように、周りをごちそうを食べている中、食事も野菜だけのものをとることにしたんだ。結果はダニエルたちの方が健康状態も良く、ほかの若者たちにも同じことをさせたくらいだったね。

私たちクリスチャンも、この世に生きる人たちと違う考え方で何をするか…選ぶべき時がそれぞれにくる。流されないでキリスト者として歩いていけるよう祈ろう！

2021/4/10(日)

ダニエル 2:1-24

ネブカドネツアルは尋常ではない夢を見て心が騒ぎ、カルデアの呪法師や呪術師たちを呼び集めました。王は夢の内容は告げないまま、自分の見た夢と、その意味を教えるように要求しました。当然呪法師たちは答えられず、王から呪法師たちを滅ぼす命令が下され、殺害の手がダニエルたちにも伸びます。その時、ダニエルは王に時間的猶予を求めます。その目的は祈るためでした。しかも、一人ではなく三人の信仰の友に連絡を取り、困難な状況を知らせ、ともに祈り求めるように要請をしました。

教会でも家の教会の集まりや祈り会など、集まって祈ることがあるね。ダニエルたちもそのようにしてともに祈ることを願っていました。マタイ 18:19,20 でイエス様が語ったことを読もう！一緒に祈るということを通して神様が働いてくださることを信じよう！